



Fukuoka Flower Show

— * —
吉谷桂子氏 特別講演会

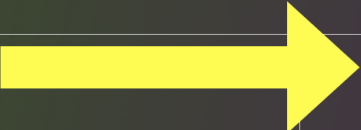
人を幸福にする
ガーデンの力

～RHSに学ぶガーデンの価値と
FFSガーデンコンテスト～

RHS

美だけではなく、**1804設立から....200年が経過して.....**

設立当初 1800年代～



現代 2024以降～加わったこと

植物の収集、導入、分類

+ 生物多様性の回復と保全

栽培技術、果樹・野菜・花の試験

+ 気候変動への適応と低炭素の園芸

園芸知識の交換と出版

+ 誰もが参加できる園芸教育と地域活動

優れた植物・栽培を評価し表彰

+ ウェルビーイング、絶滅種の保護・軽減

庭園・農園の生産性や美しさ

+ 都市の緑化、雨水管理、暑熱対策

会員を中心とする専門的な組織

+ 子ども、学校、地域、行政、企業との連携

現在のRHSは..

- 園芸を通じて、人々の生活と環境をより良くする
- 誰もが園芸を楽しみ、実践できる社会をつくる
- 科学的研究と植物試験にもとづく、信頼できる園芸情報を提供する
- 持続可能性、生物多様性、気候変動への適応を園芸の現場で進める

*** 花や庭を「鑑賞の対象」ととどめず、食、健康、教育
地域のつながり、都市環境を支える基盤として位置づける

RHS

美しさだけではなく、今伝えるべきことを知ってもらうチャンス.....

設立当初 1800年代～	➡	21世紀以降～ +加わったこと
植物の収集、導入、分類発表		+ 生物多様性の回復と保全
栽培技術、果樹・野菜・花の試験・新種		+ 気候変動への適応と低炭素の園芸
園芸の発展 知識交換と出版		+ 誰もが参加できる園芸教育と地域活動
優れた植物・栽培を評価し表彰		+ ウェルビーイング、絶滅種の保護・軽減
庭園・農園の生産性や美しさ		+ 都市の緑化、雨水管理、暑熱対策
会員を中心とする専門的な組織コミュニティ		+ 子ども、学校、地域、行政、企業との連携

福岡市フラワーショーの、すごい点

それは **RHS**を招いた
フラワーショーであり

コンテスト入賞者へは
助成金があり
世界中から申し込みが
できる！

Royal Horticultural Society 略称 RHS（英国王立園芸協会）

1804年設立当時の植物に対する関心の高まりと

園芸の技術知識の共有を社会的に促進する必要性から発祥、園芸や植物の愛好者に向けた支援と教育を提供することを目的。

- 1. 教育と啓発** : 園芸に関する教育プログラムや講座を提供し、専門的な知識や技術を広めている。これにより、個人、学校、コミュニティが植物や環境に対する理解を深められるよう努めている。
- 2. 植物の保護と保存** : 協会は希少植物や絶滅危惧種の保護に取り組んでおり、植物の保存に関する研究や活動を行っている。これにより生物多様性の維持にも寄与。
- 3. コミュニティの形成** : RHSはさまざまなイベントやフェアを主催し、園芸愛好者、専門家、一般市民が交流する場を提供している。このことで、園芸に対する情熱を共有するコミュニティが形成されている。
- 4. 美の追求と文化的価値** : RHSは、最新のガーデンデザインや植物美術の推進にも力を入れており、公共の場の緑地や庭園の美しさを向上させることを目指し、これにより、**地域社会における生活の質も向上**している。

RHSは園芸を通じて環境に対する理解を深め、美しい花と緑の空間を促進し、
持続可能な未来を築くための重要な役割を果たしている

福岡フラワーショーは、切尔西・フラワーショーであると仮定します。

私たちはRHSのショーで行うのと全く同じ方法で、すべてを行います。これはかなり集中的で、とても詳細なものです。

そして最も重要なことは、

私たちがすべてを評価基準に従って審査しなければならないということです。

評価基準は個人的な好みではありません。

これはRHSの審査員がまず最初にしなければならないことは自分が好きなものは、脇に置くことです。

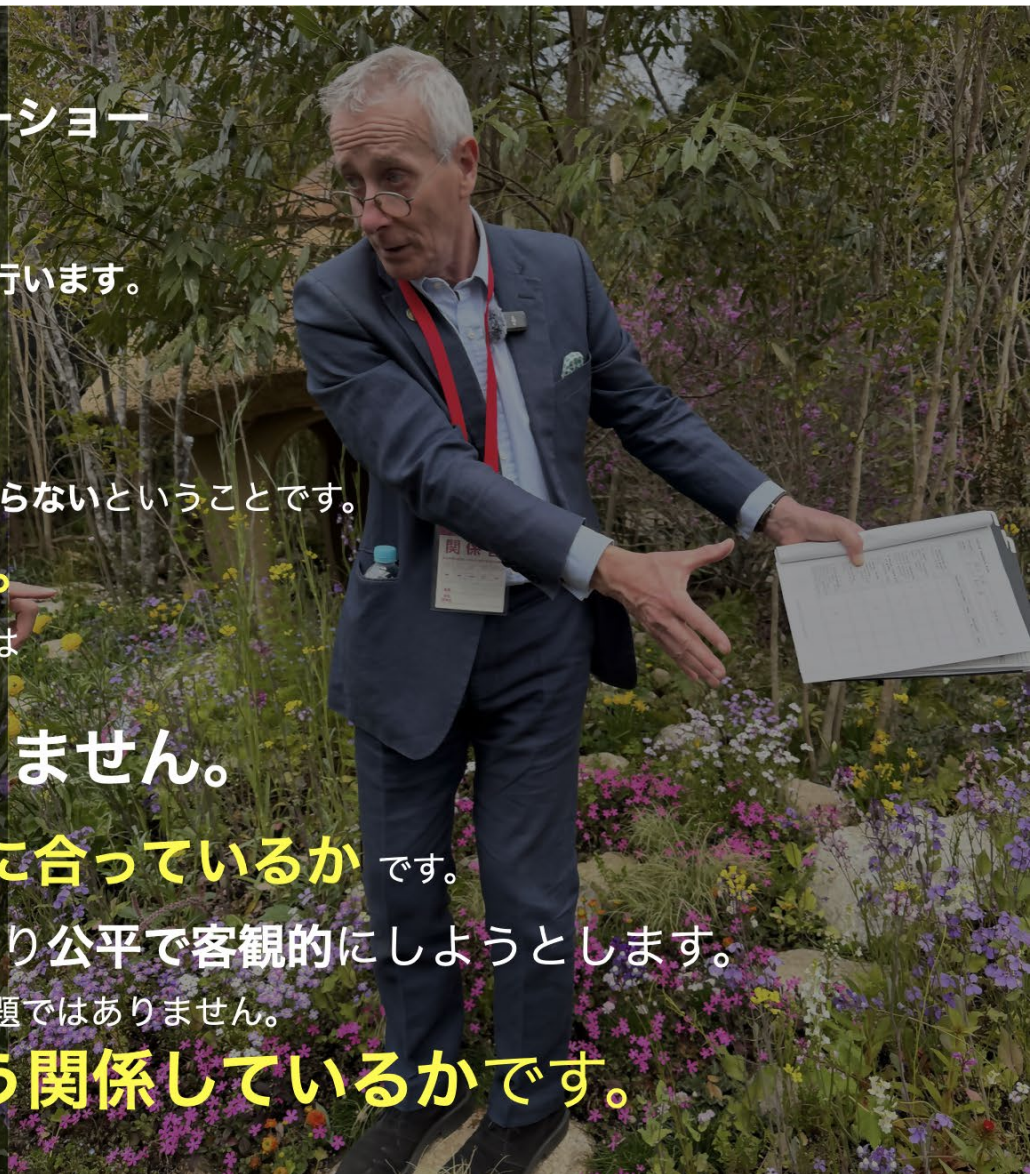
あなたが好きかどうかは関係ありません。

重要なのは、**それが評価基準と、どのように合っているか**です。

これが、私たちが従うべきプロセスです。そして可能な限り公平で客観的にしようとしています。

もし、あなたが個人的にその庭を好きでなくても、それは問題ではありません。

重要なのはそれが評価基準とどう関係しているかです。



9つの評価基準

9 Criteria

- 公平であること
- 厳格であること
- 好き嫌いではなく
- 評価基準に忠実に
- そして審査員自身も楽しむこと

- ① ブリーフ 要望 (クライアントブリーフ)
- ② インパクト
- ③ 全体の印象
- ④ 2D (二次元レイアウトデザイン)
- ⑤ 3D (二次元 立体構成)
- ⑥ 施工技術
- ⑦ 植栽デザイン
- ⑧ 植栽適合
- ⑨ 植栽施工技術

Criteria 1 Client brief 「クライアントの要望の実現」 ブリーフ

もっとも大切でー最も複雑な項目は、実際に、クライアントの要望を満たしているか

を最初の判断基準とする。これが非常に重要。なぜなら、プロとしての仕事は最終的にここにあるからだ。クライアントの話をきちんと聞き、その要望に合ったものを作る必要がある

「クライアントはこれで、満足するだろうか？」という問いが、大きな判断基準になる。

また、もしそれが、哲学的な庭やコンセプチュアルな庭であれば、その哲学やコンセプトが何なのかを理解する必要がある。その要望が、庭のメッセージとして、分かりやすく伝わっているか。

すべての審査員が、「クライアントの要望の実現」において どこを、何を見るべきか、最初に理解したのちに、審査の判断をする。

Criteria 2 Impact 「インパクト」

二番目に大切なこと。ここでは、この庭が ショーの展示庭園であるという点。

通常の個人住宅の庭とは違います。ショーの庭の役割は、「来場者の注意を引くこと」です。

ガーデンショーでは、庭をデザインし審査することは 全体の一部にすぎません。

来場者がそこからインスピレーションを得たり、学んだり、教育的な価値を得ることも大きな目的です。

私たちが見る庭は、人が素通りする庭ではなく、
...つまり立ち止まり、考え、興味を持つような庭であるかを見る。

庭からメッセージが伝わり、デザイナーの情熱や興奮が感じられるかを見るのです。

二番目に大切なこと。ここでは、この庭が **ショーの展示庭園である** という点。

- **魅力があるか**

通常の個人住宅の庭とは違います。ショーの庭の役割は、**「来場者の注意を引くこと」** です。

- **雰囲気があるか**

ガーデンショーでは、庭をデザインし審査することは 全体の一部にすぎません。

- **劇的な力があるか**

来場者がそこからインスピレーションを得たり、学んだり、教育的な価値を得ることも大きな目的です。

- **興奮させるか**

私たちが見る庭は、人が素通りする庭ではなく、

- **革新的か**

...つまり立ち止まり、考え、興味を持つような庭であるかを見る。

- **つまり...**

Wow!!! が必要

庭からメッセージが伝わり、デザイナーの情熱や興奮が感じられるかを見るのです。

これは時に測るのが難しい項目です。しかし、難しいものを評価することこそ審査員の仕事です。

また、そこでは少し文化的な違いもあります。

Criteria 3 Overall Impression 全体の印象

庭は遠くから見ると美しく見えるかもしれません。しかし

- 細部に注意が払われているか
- 材料の選び方はどうか
- 仕上げは高いレベルか

またドレッシング（仕上げの飾りなど） もここに含まれます。

ドレッシング＝例えば

- クッション
 - テーブルのセッティング
- など

Criteria 4 2D Layout 二次元レイアウトデザイン

- バランスは適切か 二次元的な配置（平面レイアウト）のデザインは機能的か
- 通路の幅は十分か 通れるか 意味のない行き止まりはないか？
- 歩きやすいか 危険はないか？ もしも、それが病院の施設であれば安全性を優先に考えられているか？
- 座るスペースは十分か くつろげるか
- 子どもの庭なら遊ぶスペースがあるか
- パーティー用の庭なら人が集まれる広さがあるか

また、植栽スペースについて

- 植栽スペースは、狭すぎないか
- 無理に詰め込まれていないか 余裕のある豊かな植栽になっているか

ただし、忘れてはいけないのは、これはガーデンショーであり、植物が中心であるということです。

植物の配置や使い方は非常に重要です。

Criteria 5 3D Layout (立体構成・三次元レイアウト)

高さや立体的な構成。例えば.....

- パーゴラ
- 高さとプロポーション
- 樹木 や 大きめの低木
- 空間の高さ 空間がどのように感じられるか
- 没入感があるか

そして

- 高低差のあるフロアや花壇
- サンクンガーデンなども評価

庭が空間として没入感があるか、それとも単に「地面に植栽や舗装があるだけ」なのか？

地面に低い植栽や舗装だけと言った平面的な庭では横から見た時の、樹木やキャノピーによる立体的な体験に欠けるかもしれない。

この項目はデザイナーが失敗しやすい部分です。多くの場合、一步下がって全体を立体的な構成として見るということができていません。次のようなことを見直してください。

• 樹木のサイズは十分か 構造物は適切なスケールか 景観の中で自然に見えるか

Criteria 6 Construction (施工)

ここでは例えば、

- 水平が取れているか
- 水景が正しく流れているか
- 舗装が安全か
- つまづく危険がないか

などを見ます。

例えば高齢者向けの庭なら、転倒の危険があってはいけません。子どもの庭でも同様です。

どれほど良いデザインでも
施工が悪ければ
庭は成立しません。
そして、安全な空間を

Criteria 6 Construction（施工）つづき

どれほど良いデザインでも、施工が悪ければ庭は成立しません。

きちんとした職人の仕事に見えるかどうかです。

- レンガ積みの品質
- 舗装の施工
- フェンスや境界の仕上げ などを確認します。

ガーデンショーでは、デザイナーだけでなく施工チームも称賛されるべき存在です。

この施工の評価で「Excellent」を取った庭は、ベスト施工賞（Best Construction Award）の候補になります。

ディテール（細部） ハードランドスケープ 組み立て方などを細かいところまで見ます。

Criteria 7 Planting Design (色・質感・形)

ここから植栽評価の3項目に入ります。重要なのは、それぞれを正しいカテゴリで評価することです。

この項目では

- 色 カラー
- 質感 テクスチャ
- 形 フォーム

を見ます。つまり視覚的に美しいかです。そしてブリーフと合っているか。

例えば「楽しいカラフルな庭」と書いてあるのに

植栽が単調なら問題です。つまり植栽の全体的な美的構成を見る項目です。

Criteria 8 Plant Associations (植物の組み合わせ)

植物の組み合わせ (アソシエーション) RHSでは植物学をととても重視しています。

ここでは、

- 植物の組み合わせが持続可能か、ここで寿命まで生きていけるのか
- 同じ環境条件で育つか、プランツエコロジーは合っているか

例えば、

- 湿地を好む植物
- 日向を好む植物
- 乾燥を好む植物
- 日陰を好む植物

見た目だけで一緒に植えると、美しくても長くは生きません。

また日本の気候は英国と異なるため、この部分では、日本の審査員の知識に頼ることになります。

植物が

- 条件に合っているか
- 適切な場所に植えられているか

Criteria 9 Planting Implementation (植栽施工)

最終的には

植栽作業がどれだけ上手く行われているか？

「植栽の実施」と「植物の健康」です。

• 植え方

- 植え方が適切か

- 植物が前からあったように自然に見えるか

• 植物の定着

花や、葉の向きが不自然？ つまり本物らしく見えるか？
こうしたものを自然に見せる技術や感覚も大変重要です。

- 植物が密植すぎないか

- 逆に隙間が空きすぎていないか

例えばツル植物を植えたばかりだと葉の向きがまだ自然ではない場合があります。

しかし上手く管理すれば自然に見せることができる。

なども評価します。

Criteria 9 Planting Implementation (植栽施工)

最近は

- 農薬を減らす
- 生物多様性を尊重する

という流れがありますから、少しの虫食いなどは問題ではありません。

しかし、**- 枯れかけている** **- うどんこ病などの病気** **- 樹木の大きな損傷**

などがある場合は問題になります。

つまり小さなことには神経質になりませんが

植物の健康に重大な問題がある場合は減点対象になります。